

君はもう帰ってこない

認知症になった妻へ送る片便り

認知症の妻と離れて暮らす夫がつづった思いとは。
コロナ禍の今、日本中の家族で起きていることを
その当事者が描く感動作。

◆コロナ禍だから生まれた作品◆

東京の西日暮里で長年町工場を営んできた河内夫妻。

ある年の正月に、奥様の身に起きた「異変」から本書は始まります。認知症によって変わっていくしっかり者だった妻、心配やさみしさを感じながらもそれを受け入れていく夫……。

苦楽を共にしてきた妻に向けた、愛に溢れた言葉の一つ一つが胸を打ちます。ただ、残念ながらどんなに言葉を尽くしても、思いはもう奥様には届きません。

綴られた思いはまさに一向に返事が来ることのない「片便り」です。今、会いたくても会えない人がいるという方、家族親族が同じような境遇にある方にぜひ読んでいただきたい、切なくも心温まる一冊です。

●「アルツハイマー型認知症と診断され、施設で暮らしている妻・幸子には、三カ月ほど会えていない。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、施設への訪問が禁じられてしまったからだ。手紙を書いている間、家には僕一人きりのはずなのに、幸子がずっとそばにいたような不思議な感覚にとらわれ、心が弾み、思わず長文になっている自分がいた。そして幸子が生きてきた証を鮮明に記録として残してみたいと、ふいに思い立った」（プロローグより）



※装丁は制作中です。

【装画・挿絵 高田美穂子】

著者紹介

河内 洋輔(かわうち・ようすけ)

昭和13年生まれ。岡山県出身。妻の幸子がアルツハイマー型認知症と診断され、献身的に介護するも症状が悪化。ついに自宅での生活が困難となり、令和元年12月にグループホームに入居することになる。数カ月後、新型コロナウイルス感染症の影響で面会できない日々が続くなか、「妻が懸命に生きてきた証を残したい」との思いが湧き、本書を執筆した。

貴店印・帳合

ご注文数

君はもう帰ってこない

認知症になった妻へ送る片便り

河内 洋輔/著

定価：本体1,300円(税別)

ISBN978-4-909417-70-1

発売日：2021年4月14日

四六判並製/148頁

PHPエディターズ・グループ

ご担当

様

冊

発行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061

東京都江東区豊洲5-6-52 11階

☎ 03-6204-2931

FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。